

明石市Tacoバス

PDCAによる100万人までの軌跡

～利便性の向上と利用促進策～

平成27年10月14日

第9回地域バス交通活性化セミナー

明石市土木交通部交通政策室交通政策課

1

発表内容

1. 明石市の概要
2. コミュニティバス(Tacoバス)
3. 利便性向上と利用促進策
4. 持続可能な展開方針
5. まとめ



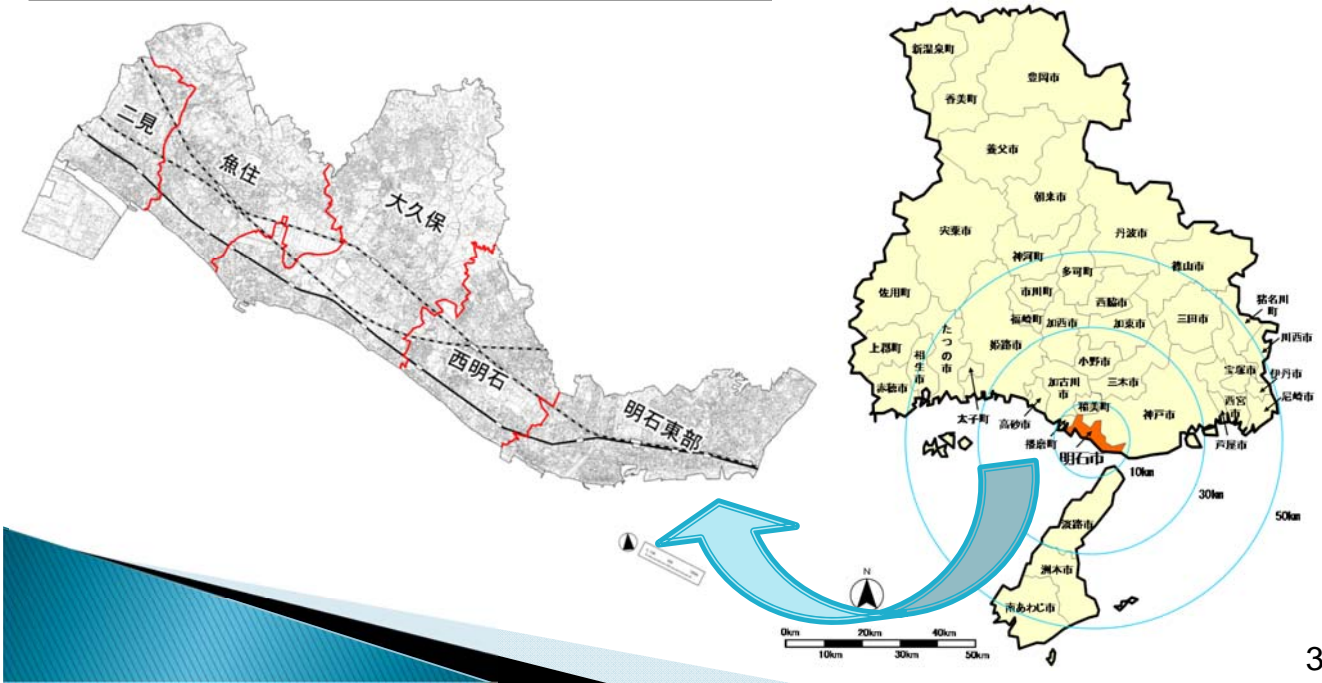
マスコットキャラクター「たこバスちゃん」

2

1. 明石市の概要

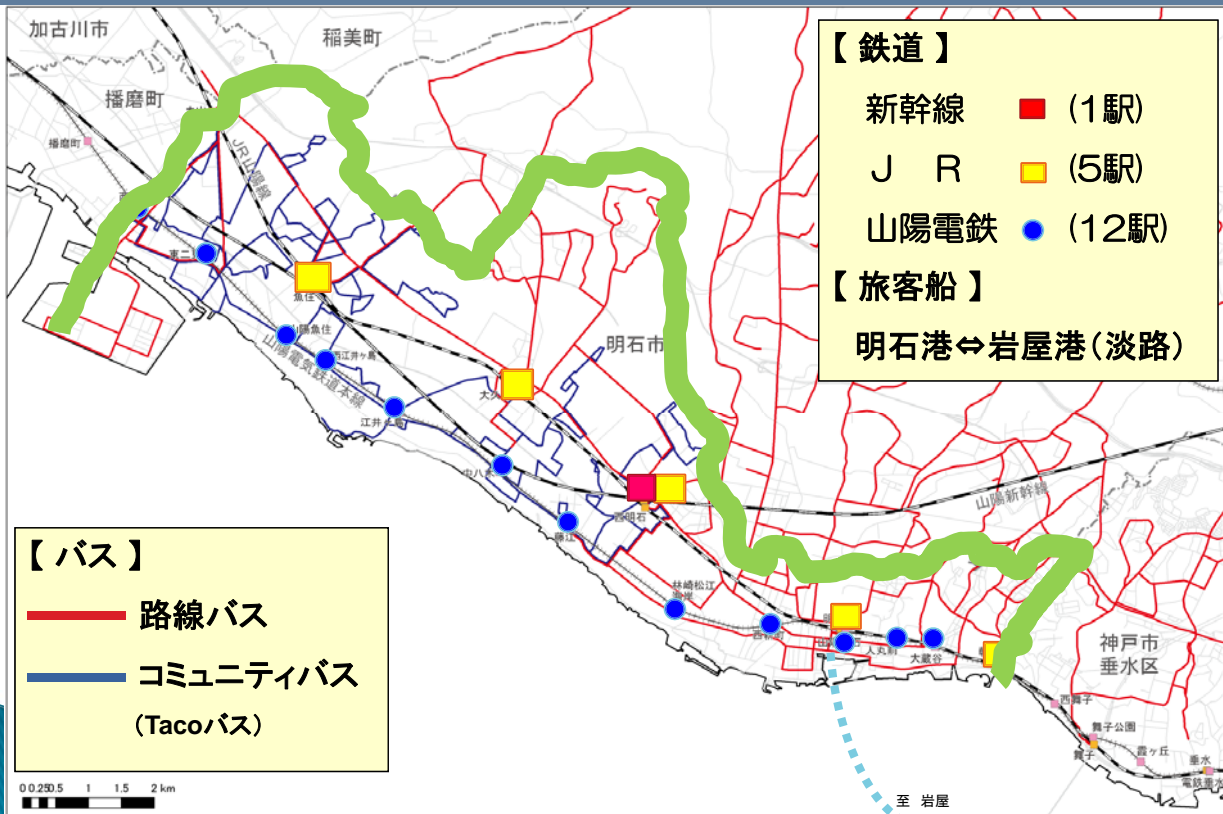
(1) 明石市の基本情報

人口: 292,024人^{H27.9.1} 面積: 49.42km² (東西約16km・南北約9km)
 隣接自治体: 神戸市・加古川市・稲美町・播磨町(明石海峡を挟んで淡路市)
 予算総額: 約1,915億円(H27当初) 特別会計、企業会計含む



1. 明石市の概要

(2) 明石市の公共交通



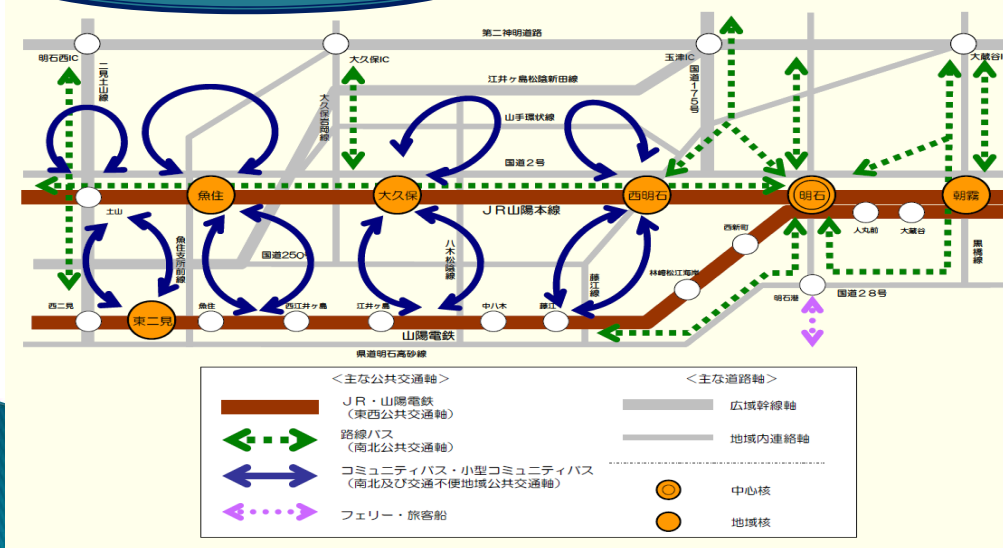
1. 明石市の概要

(3) 明石市総合交通計画（都市・地域総合交通戦略）[平成19年度版]

目的

「公共交通の利用促進を基本とし、時代の変化に即応した誰もが安全で円滑に移動できる交通体系の確立」

交通体系の考え方



明石市 総合交通計画



2. コミュニティバス(Tacoバス)

(1) 運行概要

Tacoバス
(36人乗り)



Tacoバスミニ
(9人乗り)



導入のコンセプト

- 交通不便地域の縮減
- 移動制約者の移動手段の確保
- 環境負荷の軽減

+

路線バスの運行していない市西部地域における、鉄道駅と地域とを結ぶ交通手段として公共交通ネットワークの一部へ

	実験運行	本格運行	拡大運行
運行期間	H16.11.9～	H18.4.1～	H19.11.20
路線数	2ルート	3ルート	17ルート
車両数(予備車含)	5台	5台	24台(うちミニ9台)
運行時間帯	7時～20時	7時～20時	7時～20時
運行間隔	毎時1便	毎時1便	毎時1便
日利用者数	約650人/日	約950人/日	目標3,000人/日
年間利用者		約34万人/年	目標100万人/年

2. コミュニティバス(Tacoバス)

(1) 運行概要



7

2. コミュニティバス(Tacoバス)

(2) 路線拡大とその結果・・・

拡大運行以前の平均利用者数

935人/日
(3ルート)



平成19年11月20日拡大運行開始（・・・運命の日）

失敗事例に
転落か!?

11月30日までの平均利用者数

1,487人/日
(17ルート)

これでは年間55万人足らず・・・100万人は夢でも、少しでも増やしたい

運行水準は簡単に変えることができない・・・

★運行サービスのポテンシャルを最大限に引き出そう!

★課題は何? 一つずつ、それに対する企画づくり!

8

3. 利便性向上と利用促進策

(1) 利便性向上について

★運行サービスのポテンシャルを最大限に引き出す

時期	ねらい	取組み	内容
前期 20～21	サービスの底上げと、利用できるバスとしてのイメージ向上	ルートの見直し (迅速かつ柔軟さを重視)	・利用者が定着する前に、また、評判が固定する前に計画と実態との相違を解消 ・見直し後も利用が増えないルートは廃止
		待合環境の改善	・バス停上屋の整備 ・バス停路線図を模式図から地形図へ
		車両改善(積み残し対策)	ミニの車両9→12人乗り (乗り控えの回避)

待合環境の改善



清水西口



江井ヶ島SC北

車両改善



9人乗り



12人乗り

3. 利便性向上と利用促進策

(1) 利便性向上について

★運行サービスのポテンシャルを最大限に引き出す

時期	ねらい	取組み	内容
中期 21～23	交通手段としてバスを選択しやすい環境づくり	携帯用時刻表検索システムの整備	毎時1便のバスを逃さないよう外出先でもダイヤ検索できるシステムの整備
		「あかしびじょん。」の整備	鉄道との乗り継ぎを円滑にするため、JR駅のコンコース等に、全てのバスの発車時刻を表示するシステムを構築
		経路検索サービスへのダイヤ提供	駅すばあとやナビタイム、乗換案内等に運行情報を掲載(来訪者でも利用しやすく)
		エコファミリー制度導入	土日祝は大人1人につき小学生2名まで無料



携帯用時刻表検索システム



西明石駅

あかしびじょん。



明石駅

エコファミリー制度



3. 利便性向上と利用促進策

(1) 利便性向上について

★運行サービスのポテンシャルを最大限に引き出す

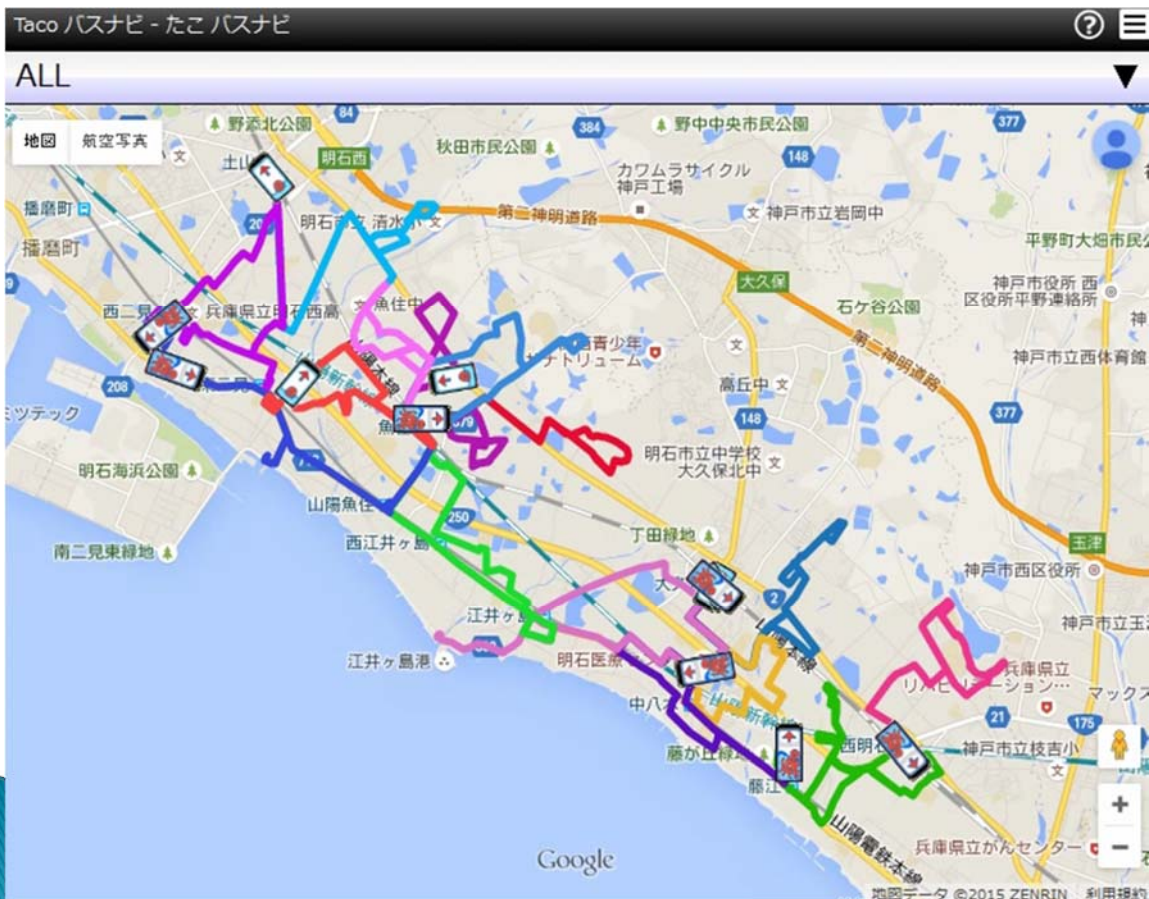
緑: 地域主体の取組み

赤: 事業者主体の取組み

時期	ねらい	取組み	内容
後期 23~27	持続的な運行を目指した利便性を維持した収支改善	ルートの見直し (利用の少ないルートに重点)	定着した利用者への影響を踏まえつつ効率的なルートへ改変
		路線図への広告掲載	沿線施設の広告掲載による収入と地域との関係を強化
	車両改善(燃料費削減対策)	ミニの車両をLPG&ガソリンハイブリッドへ改造	
	バスの見える化	バスロケーションシステムの整備	スマートフォンのGPS機能を利用し、バスの現在地を表示する簡易版バスロケーションシステムを構築(若年層の取り込み)



3. 利便性向上と利用促進策



3. 利便性向上と利用促進策

(2) 利用促進策について

★課題に応じた方策の展開

☆は効果算定をしている取組み

時期	ねらい	取組み	内容
前期 20～21	新しい交通機関としての情報発信	公共交通マップ(おでかけマップ)の配布	・鉄道や路線バスも含めすべての公共交通のネットワークが一目でわかるおでかけマップを作成・配布
		学校MM(☆)	沿線小学校でコミバスの乗車体験、公共交通の役割を周知



13

3. 利便性向上と利用促進策

(2) 利用促進策について

★課題に応じた方策の展開

☆は効果算定をしている取組み

時期	ねらい	取組み	内容
中期 21～23	未利用者への利用誘導	スタンプラリー(夏休み)(☆)	ルート毎のキャラクターシールを集めて商品に応募
		広報誌による特集	公共交通特集により広く利用啓発
		チラシ等の自治会回覧	利用啓発チラシを沿線自治会に回覧

スタンプラリー



広報紙による特集



H23.3.15号

H23.11.15号

14

3. 利便性向上と利用促進策

(2) 利用促進策について

緑: 地域主体の取組み
赤: 事業者主体の取組み

★★行政だけでは限界・・・ もっと人の力を借りる ⇒地域等との連携強化

時期	ねらい	取組み	内容
後期 24~27	地域でバスを支える意識の醸成、支援組織の構築	たこバスサポーター制度	利用促進等に協力している企業・団体・個人等をサポーターとして認定
		地域と連携したイベント	沿線施設、NPO、学校等と連携して地域イベントや試乗会、10周年イベントを実施
		Facebook・Twitter開設	SNSによる沿線紹介等の情報を発信
		沿線施設で利用者への特典	利用者に食事や商品を割り引く施設が登場
		コラボレーションバス	バス車体にご当地アイドル(YENA☆)のイラストをラッピング
		沿線の大型商業施設と連携	一定額以上の買い物レシートで無料乗車券を配布
	利用の少ない時期の底上げと平日利用者を休日にも利用誘導	ビンゴキャンペーン(冬休み)(☆)	乗車日と同じ数字のシールを集めて列を完成させて商品に応募
		土日無料社会実験(☆)	平日と比較すると利用者が少ない土日の利用誘導と移動実態の把握
	未利用者への利用誘導	クリスマスイベント	デコレーションバス運行、事業者によるデコレーションコンテスト、飾り付け体験
		お試し乗車券の配布(☆)	転入者への利用の動機づけを図る取組み
		沿線施設訪問	路線図の設置施設拡大、専用時刻表の配布
		チラシ・路線図等のポスティング	沿線世帯に直接配布
		利用啓発リーフレット(マンガ)の作成	バスの現状を分かりやすく伝えるため、地元高校生と連携して作成

3. 利便性向上と利用促進策

試乗会



クリスマスデコレーション



10周年記念イベント



facebook



応援店



YENA☆バス

たこバスサポーター



商業施設と連携



お試し乗車券



3. 利便性向上と利用促進策

(3) 取組みにあたって

P:課題への方策検討

D:実施

C:効果の算定

A:取組み方法の改善



例) スタンプラリー

課題: 未利用者の利用誘導

実施: 乗車ごとにルート毎のシールを配布・集めて商品に応募

効果算定: 応募時にアンケート・参加による利用回数の増加を算定

取組改善: 3年目に効果が鈍化 ⇒ 未利用者の減少

↓

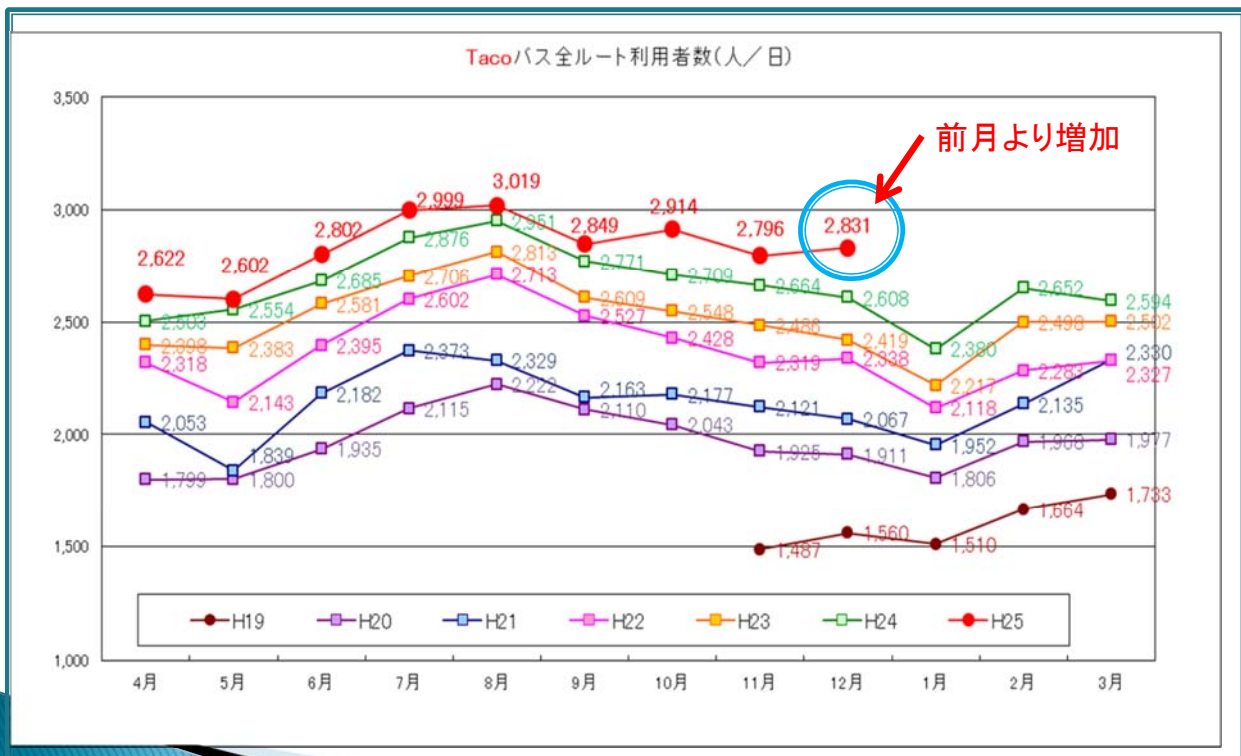
既存利用者の回数増をターゲットに(夏から冬に実施時期を変更)

↓

ビンゴ方式へ変更(乗車日と同じ数字のシールを配布・列が揃えば応募)

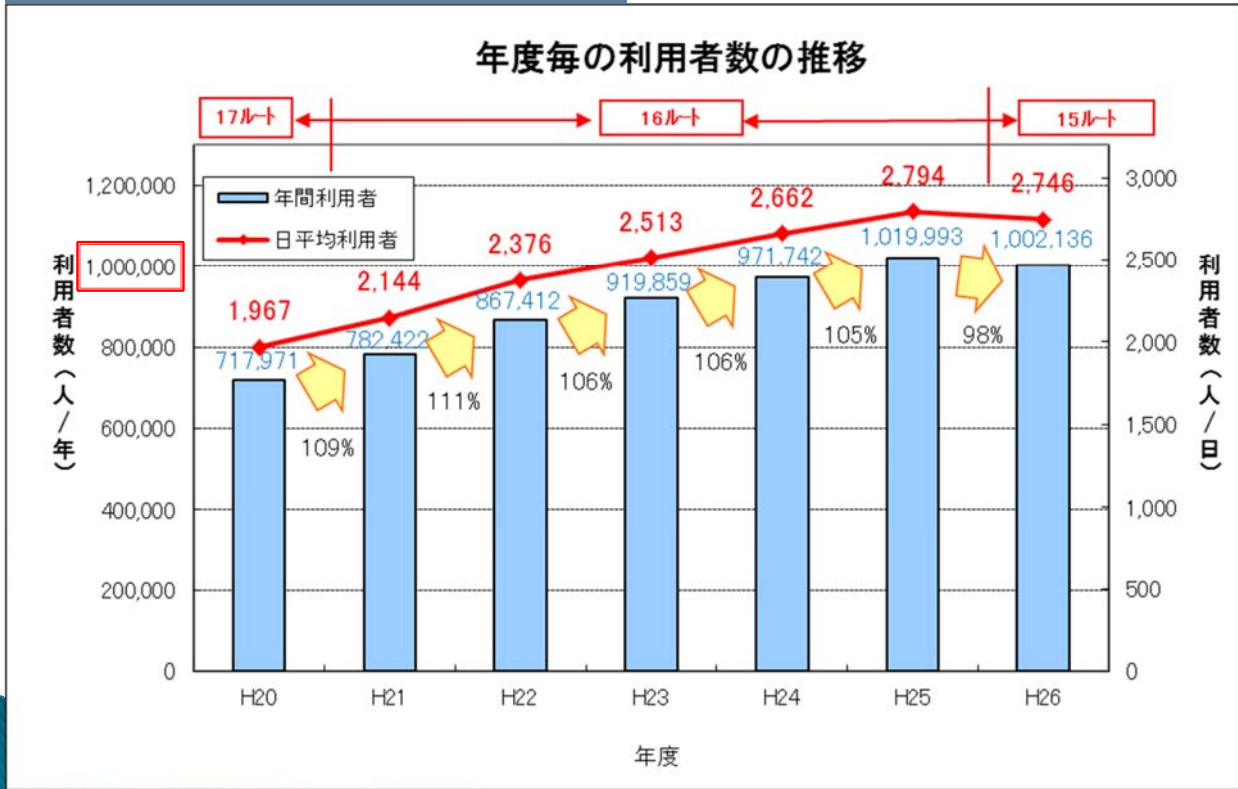
3. 利便性向上と利用促進策

(3) 取組みにあたって



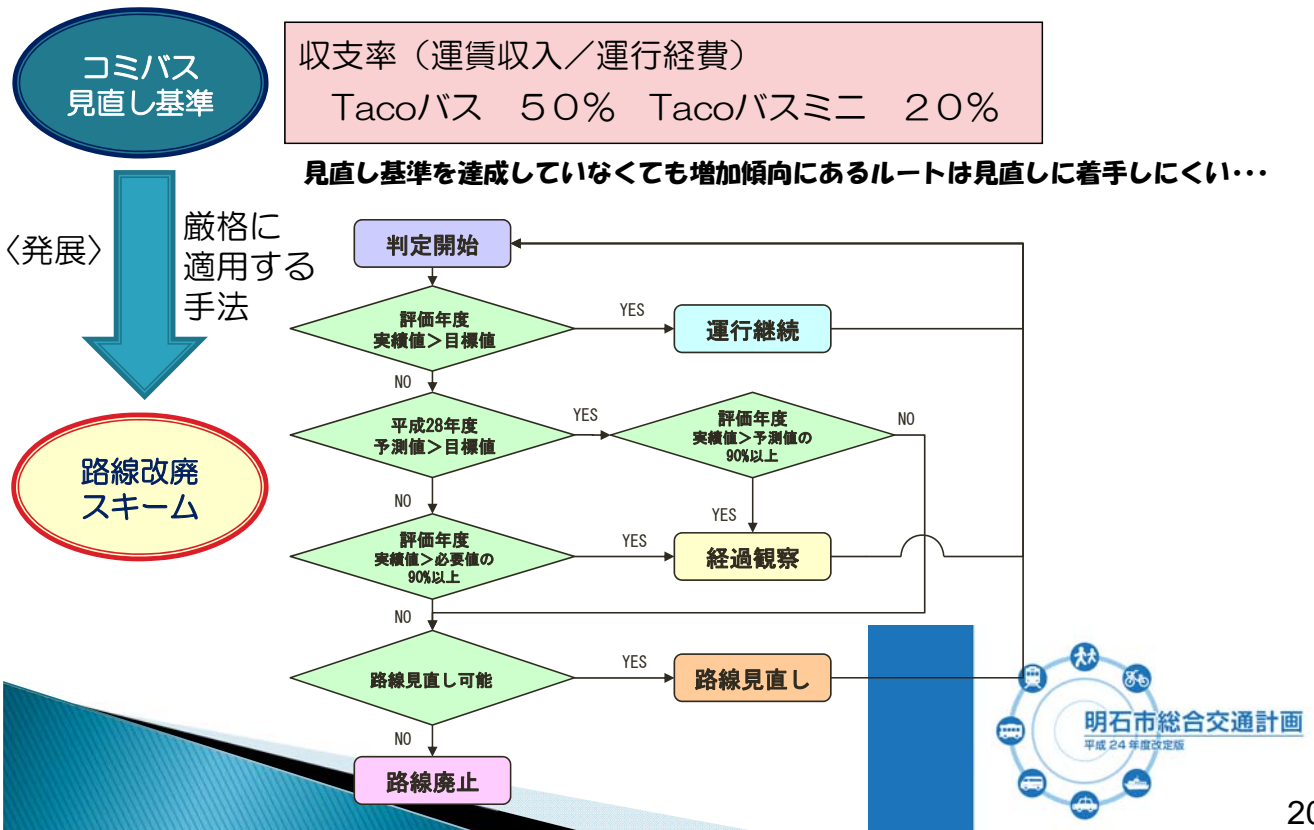
3. 利便性向上と利用促進

(4) 年間利用者100万人への軌跡



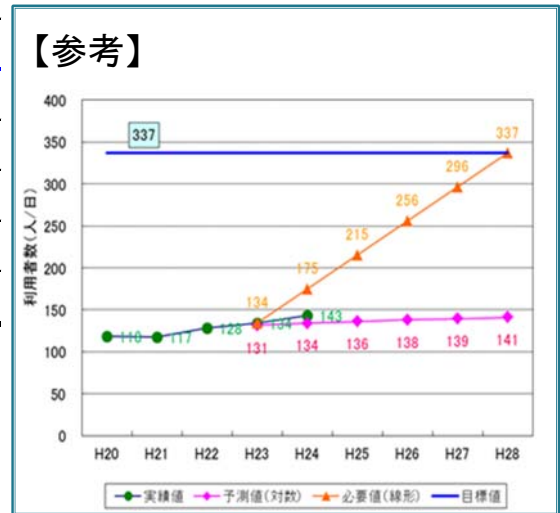
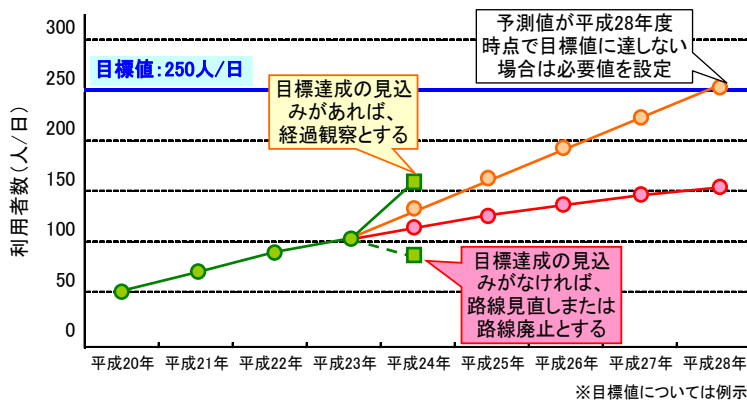
4. 持続可能な展開方針

(1) 明石市総合交通計画（都市・地域総合交通戦略）の見直し [平成24年度改定版]



4. 持続可能な展開方針

(2) 明石市総合交通計画（都市・地域総合交通戦略）の見直し [平成24年度改定版]



これに沿って路線判定を実施

平成25年度には要改廃
判定の3ルートを
抜本的見直しに着手

ルートの統合などにより
平成26年4月から
15ルートで運行中

21

5. まとめ

(1) 色々やって気づいたこと

- ① 利便性向上と利用促進策は同時進行で
- ② 企画はとにかくやってみることで次の展開が顕在化する
- ③ 次の展開に対し積極的に対応することで更なる効果が得られる
- ④ 人の力は遠慮なく借りる
- ⑤ 地域限定の交通モードにせず、交通体系にしっかりと位置付け、担うべき役割から逸れないようにマネジメントすること

22

5. まとめ

(2) 今後の取組み

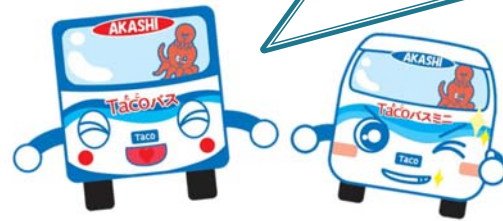
◎コミュニティバスの展開方針の見直し

路線改廃スキームは、平成28年度を目標年度としているため、今後の展開方針の見直しを検討

◎利便性の向上

ICカードの導入
積み残し対策

たこバスを持続的に運行していくために
頑張ります！！プップー=3



◎利用促進策

今までの取組みを継続し、たこバスサポーターや地域と連携した企画を…

23

～ お礼 ～

運行事業者の皆様へ

あれもしたい、これもしたい…

そんな私たちに、いつも前向きに付き合っ一緒に知恵を出してくださる運行事業者の皆さんです。



いつもありがとうございます！
これからもよろしくお願いします！

24